

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 6 部門第 3 区分
 【発行日】平成 18 年 5 月 11 日 (2006.5.11)

【公開番号】特開 2003-330734 (P2003-330734A)
 【公開日】平成 15 年 11 月 21 日 (2003.11.21)
 【出願番号】特願 2003-125028 (P2003-125028)
 【国際特許分類】

G 0 6 F 9/46 (2006.01)

【F I】

G 0 6 F 9/46 3 4 0 F

【手続補正書】
 【提出日】平成 18 年 3 月 17 日 (2006.3.17)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】特許請求の範囲
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】

【請求項 1】 コンピュータシステム資源を割当てする方法であって、
 システム資源が割当てられる複数のアプリケーションに対して重み比率を計算するステップであって、前記アプリケーションは該アプリケーションに関連付けられた重みを有し、
 前記重み比率は割当比率と要求比率とを含み、
 前記重み比率に基づいて目標比率を設定するステップと、
 前記重み比率を使用してアプリケーションの現セットを判断するステップと、
 前記目標比率を使用して前記現セットの各アプリケーションに割当てのために十分な未割当資源があるか否かを判断するステップと、
 前記目標比率を使用して前記現セットの各アプリケーションに割当てのために十分な未割当資源がある場合、
 前記目標比率を新たな目標比率に変更するステップと、
 前記新たな目標比率を使用して前記現セットの各アプリケーションに割当てのために十分な未割当資源があるか否かを再度判断するステップと、
 を含む方法。

【請求項 2】 前記目標比率を使用して前記現セットの各アプリケーションに割当てのために十分な未割当資源がない場合、該目標比率に基づいて資源を割当てするステップをさらに含む請求項 1 記載の方法。

【請求項 3】 前記目標比率に基づく割当後に残っている資源がある場合、最終比率を使用して前記現セットの前記アプリケーションに対し該残っている資源を割当てするステップをさらに含む請求項 2 記載の方法。

【請求項 4】 前記目標比率を新たな目標比率に変更するステップは、該目標比率を次の最も高い重み比率に進めるステップを含む請求項 1 乃至 3 のいずれかに記載の方法。

【請求項 5】 前記現セットの各アプリケーションに割当てのために十分な未割当資源があるか否かを判断するステップは、各アプリケーションに対する前記目標比率と前記重みとの積に基づいて、前記現セットの各アプリケーションに対しある量の資源を割当てのために十分な未割当資源があるか否かを判断するステップを含む、請求項 1 乃至 4 のいずれかに記載の方法。

【請求項 6】 コンピュータシステム資源を割当てする方法であって、
 複数のアプリケーションに対し、最小使用権の値、最大使用権の値、および重みを含む入力パラメータを受取るステップと、

該パラメータに基づいて前記アプリケーションにシステム資源を割当てするステップと、を含む方法。

【請求項 7】 前記割当てするステップは、

各アプリケーションにその最小使用権を割当てることができるか否かを判断するステップと、

各アプリケーションにその最小使用権を割当てることができる場合、

各アプリケーションにその最小使用権を割当てするステップと、

各アクティブなアプリケーションにその最大使用権を割当てることができるか否かを判断するステップと、

各アクティブなアプリケーションにその最大使用権を割当てることができる場合、

各アクティブなアプリケーションにその最大使用権を割当てするステップと、

各アクティブおよび非アクティブなアプリケーションにその最大使用権を割当てることができるか否かを判断するステップと、

各アクティブおよび非アクティブなアプリケーションにその最大使用権を割当てることができる場合、

各アクティブおよび非アクティブなアプリケーションにその最大使用権を割当てするステップと、

残っている資源を指定されたアプリケーションに割当てするステップと、を含む請求項 6 記載の方法。

【請求項 8】 各アプリケーションがアクティブであるか非アクティブであるかを判断するステップをさらに含み、該判断するステップと前記割当てするステップとを連続ループにおいて動的に実行し、それによりアプリケーションがアクティブまたは非アクティブとなるにしたがってアプリケーション間の資源の割当てを調整する、請求項 6 または請求項 7 記載の方法。

【請求項 9】 1 つまたは複数のアプリケーション間で割当てられるシステム資源を有するコンピュータシステムであって、

メモリと、

アプリケーション間でシステム資源を割当てする方法を実行する命令を実行するプロセッサを有し、該方法は、

複数のアプリケーションに対し、最小使用権の値、最大使用権の値、および重みを含むパラメータを受取るステップと、

該パラメータに基づいて前記アプリケーションにシステム資源を割当てするステップとを含む、コンピュータシステム。

【請求項 10】 複数のアプリケーション間でコンピュータシステム資源を割当てする方法を実行するコンピュータ実行可能命令が格納された有形のコンピュータ読取可能媒体であって、該方法は、

システム資源が割当てられる複数のアプリケーションに対して重み比率を計算するステップであって、前記アプリケーションは該アプリケーションに関連付けられた重みを有し、前記重み比率は割当比率と要求比率とを含み、

該重み比率に基づいて目標比率を設定するステップと、

該重み比率を使用してアプリケーションの現セットを判断するステップと、

前記目標比率を使用して前記現セットの各アプリケーションに割当てするために十分な未割当資源があるか否かを判断するステップと、

前記目標比率を使用して前記現セットの各アプリケーションに割当てするために十分な未割当資源がある場合、該目標比率を新たな目標比率に変更し、該新たな目標比率を使用して該現セットの各アプリケーションに割当てするために十分な未割当資源があるか否かを再度判断するステップと、を含むコンピュータ読取可能媒体。